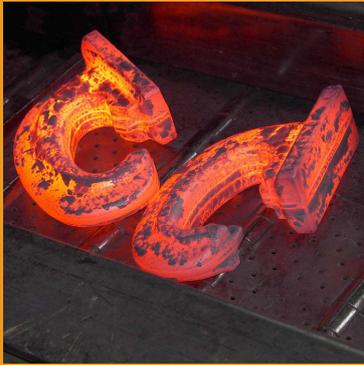


ショベルフック

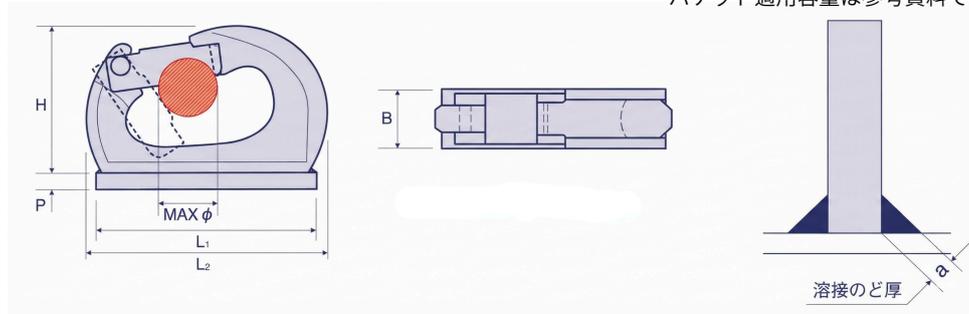


型番	最大荷重 トン	L ₁ mm	L ₂ mm	H mm	B mm	P mm	自重 kg	MAXφ mm	バケット 適用容量 ^{m³}	溶接のど厚 "a" mm
U005	0.5	87	95	65	23	9	0.4	21	0.005 ~ 0.05	4
U101	1.0	100	105	75	25	6	0.6	23	0.05 ~ 0.15	4
U102	2.0	111	123	87	30	13	1.0	27	0.15 ~ 0.25	6
U103	3.0	134	145	102	35	15	1.8	31	0.25 ~ 0.35	6
U104	4.0	142	151	108	35	11	2.0	31	0.35 ~ 0.45	6
U106	6.0	187	205	133	40	14	3.5	40	0.45 ~ 0.60	8
U108	8.0	214	216	141	50	20	5.1	40	0.60 ~ 0.80	8

バケット適用容量は参考資料です。



◆U型

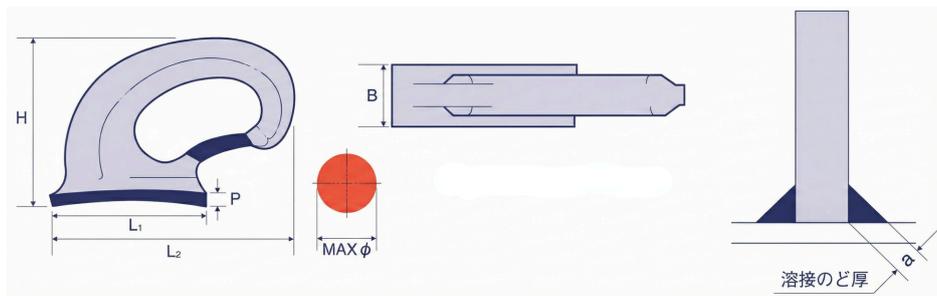


型番	最大荷重 トン	L ₁ mm	L ₂ mm	H mm	B mm	P mm	自重 kg	MAXφ mm	バケット 適用容量 ^{m³}	溶接のど厚 "a" mm
C201	1.0	67	105	76	30	7	0.75	21	0.05 ~ 0.15	4
C202	2.0	84	130	93	35	9	1.2	25	0.15 ~ 0.25	6
C203	3.0	84	133	100	35	9	1.3	25	0.25 ~ 0.35	6
C204	4.0	110	177	125	42	10	2.7	38	0.35 ~ 0.45	6
C205	5.0	110	185	133	44	10	3.0	40	0.45 ~ 0.55	6
C206	6.0	120	198	141	50	14	3.4	40	0.55 ~ 0.65	8
C208	8.0	150	250	170	60	17	7.1	45	0.65 ~ 0.80	8
C210	10.0	160	255	175	70	17	8.0	50	0.80 ~ 1.00	8
C215	15.0	170	290	190	80	25	10.8	50	1.00 ~	10

バケット適用容量は参考資料です。



◆C型



取付上のご注意

- 溶接は日本溶接協会認定の有資格者によって行ってください。
- 溶接棒は、JIS D5016(LB52-18)に準じたものをご使用ください。
- 溶接量は全周盛りで規定のど厚を守ってください。
- ショベルフックの取り付け位置は、外部から傷つけられないようなところで、できるだけバケットのセンターラインに合わせて溶接してください。
- 溶接後は、各種非破壊検査機器を用いて溶接検査を行なってください。

注意

労働安全衛生規則第164条並びに労働基準通達(基発542号)により掘削機での吊り上げを行う場合、右記の点検及び注意事項を厳守してください。



作業前の点検事項

- フック及びびれ止め金具に異常がある場合、吊り上げ作業は行わないでください。
- ワイヤーやチェーン等の玉掛用具が強度安全率を満たしていない場合は使用しないでください。
- 作業現場の地盤が傾斜していたり、軟弱な場合は吊り上げ作業を禁止してください。
- 玉掛作業は必ず玉掛技能講習修了者または特別教育修了者が行ってください。



使用上の注意事項

- ◆ 運転作業者は必ず指揮者の合図に従って作業を行ってください。
- ◆ 吊り上げ作業中に掘削機の浮き上がり、横すべり、異常な傾きが生じた場合は直ちに作業を中止してください。
- ◆ 吊り上げ作業中は、掘削機の回転半径および転倒範囲内に作業者は立ち入らないでください。
- ◆ 吊り上げ作業は衝撃荷重を避け、作業中の自走は行わないでください。

福田交易株式会社

www.fukudaco.co.jp



本社：東京 | 営業所：大阪・名古屋・広島・厚木・北陸・九州 | テクニカルセンター：厚木 | 在庫管理センター：千葉

■記載内容は予告なく変更する場合があります。そのほかの注意事項はウェブサイトでご確認ください。